

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	田尻、高瀬
	全体計画			経費区分	-	内線	
事務事業名	9879 災害復旧支援事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	03021400 防災体制の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費					
	事業	080000 災害復旧支援事業					
事業目的				事業概要・効果			
災害復旧・復興するために助け合うことで、被災地に 勇気とやる気を与える。				東日本大震災は、広範囲に甚大な被害を与えた。 災害復旧には長期間を要するため現地における災害復 旧支援のため、義援物資及び職員派遣等に係る経費を 計上。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
義援物資の発送 ・宮城県塩竈市外3市	塩竈市への職員派遣 ・事務職8名(各2週間) ・土木職3名(各1ヵ月間) ・建築職2名(各2ヵ月間) 義援物資の発送・宮城県塩竈市外4市
平成24年度 実績	平成25年度 実績
塩竈市への職員派遣 ・土木職2名(各3ヵ月間) ・建築職1名(6ヵ月間) 義援物資の発送 ・宮城県塩竈市(りんごふじ400kg)	塩竈市への職員派遣 ・土木職4名(各3ヵ月間) 義援物資の発送 ・宮城県塩竈市(りんごふじ400kg)
平成26年度 実績	平成27年度 予定
塩竈市への職員派遣 ・事務職3名(各3~6ヵ月間) 義援物資の発送 ・宮城県塩竈市(りんごふじ400kg) ・被災地復興支援事業	塩竈市への職員派遣 ・事務職1名(1年間) 義援物資の発送 塩竈市の仮設住宅が継続されていれば発送予定。

指標名	通年で1名の中長期職員派遣						
算式	職員派遣数					単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標			1	1		
	実績	0.83	0.5	0.92	0.75		
指標選定の理由	職員派遣により被災地の復興に寄与しているため						
最終年度目標の根拠	通年で1名の中長期職員派遣						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		1,009	1,217
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,009	1,217
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,009.0	1,217.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	200	義援物資
13節 委託費	385	被災地復興支援事業
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	424	災害派遣職員旅費

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	300	義援物資
13節 委託費	300	被災地復興支援事業
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	617	義援物資運搬費、災害派遣職員旅費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	被災地の復興に交流を深めることで一翼を担い絆を強くする	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	被災地に復興に一翼を担っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	数値では、計り知れない絆が深まっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

被災地復興支援事業については、市民同士の交流が深まることが何よりも良いこと。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>新たに被災地復興支援事業を実施し、市民参加の下、塩竈市の支援をすることができた。職員派遣の期間等、選定が難しいが、今後の検討課題である。</p>		<p>塩竈市への復興支援として、職員派遣、市民の訪問などを行っている。中でも派遣職員の人選には苦労もあるが、被災地塩竈市の意向を踏まえ対応ができています。当面は職員の派遣など引き続き支援が必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント